

通



泊まって
語って
通わいや！



学



合



宿



6月19日から一週間、小学生の通学合宿が行われました。子どもたちが自主性、社会性を身につけるためのこの試み。子どもたちは規則正しい生活を元気いっぱいにお過ごしました。その一週間を取材しました。

通学合宿とは

町子ども居場所づくり実行委員会主催のこの通学合宿は一週間の集団宿泊体験を通して、子どもにこれまでの自分を振り返り、これからの自分を考えることで、「自分探し」をさせる目的で行われ、今回が2回目になります。

今年参加したのは、根雨小学校、黒坂小学校の4年生から6年生のうちの計31人。

期間中、子どもたちは「至誠寮(下菅)」で合宿生活を送りながら学校へ通います。その間は家との連絡や、テレビ、マンガは一切禁止。掃除、洗濯も各班に分かれて行います。

食事は町食生活改善推進協議会の会員さんが作ってくれますが、食材の下ごしらえ、配せん、後片付けは子どもたちですることになっています。

夕食後の時間は、「オセの話し」として、毎日地域の大人や先生たちからいろいろな話を聞いて知識を深めます。

期間中は、教員と教育委員会職員が交代で宿泊、子どもの相談役になります。合宿の主役はあくまでも子どもたち。生活の進め方などは子どもが自主的に任されています。

通学合宿の日程 (平日)



合宿初日、生活の諸注意などを聞く

6:00	7:00	7:40	8:00	17:00	18:30	19:30	21:00	22:00	
起床・掃除	朝食	登校	学校生活	下校	自由時間	夕食	自由時間	洗濯・入浴・準備 地域交流・オセの話・ 自主学习など	就寝

子どもたちの一週間

子どもたちの声をまじえながら、日記風にまとめてみました。

6月19日(日) 晴れ

午後3時半に至誠寮に集合入所式とオリエンテーション。これからの生活の注意点などの説明を受けた。班ごとに初めて部屋に入り、荷物の整理や学習の準備をした。夕食は野菜入りハンバーグ、かぶのスープなど。オセの話では、根雨小の生田求先生、黒坂小の木下先生の話聞いた。二人とも自分の子供時代のことを話された。

「始まる前は緊張して少しこわかったけど、ちがう学校の友達とすぐ仲良くなれてよかった」今年も通学合宿に参加するのがすごく楽しかったです。

6月20日(月) 晴れ

おむすびとオムレツの朝食。夕食は五目ずし。オセの話では、黒坂小の三輪教頭先生が、地球の歴史や恐竜のこと、根雨小の米原教頭先生が趣味の釣りのことを話された。いつもの先生からはなかなか聞け



子どもとの交流が楽しい

町食生活改善推進協議会の皆さん

「一週間子どもたちの『食』に関

わることができてうれしいです。子どもたちはみんな孫のよう。昨年参加した子どもがまちで会った時にあいさつしてくれたり、そんな交流も楽しいです。毎日の献立は、毎食ご飯を主食にして、バランスのとれたおかずはもちろん、緑黄野菜やカルシウムがとれるよう心がけています。今年で2回目になりますが、共同生活を通して社会性を身につけ、この経験をいい思い出にしたいと思います。」



をされているなんて意外だった。竿を思いっきり振るしぐさがおもしろかった」

ない楽しい話だった。米原先生が釣

6月21日(火) 晴れ

野菜ソテー、豆腐とマツシユルームのスープの朝食。夕食は白身魚の甘酢あんなど。今日はみんなで家の両親に宛てて手紙を書いた。「家や家族のことを考えなが

6月22日(水) くもり



ら書いていたらちよっぴりさびしくなった」録画しといてほしい番組があったから書いとけばよかったなあ(笑)」

とうもろこしのかき玉汁、フルーツサラダの朝食。夕食は肉じゃが、豆腐とトマトのスープ。

今日のオセの話は、教育委員会の山川さんから、ホタル狩りの道具の作り方を教わった。ナタネの茎を干したものを竹竿の先にホウキみたいにくりつけて、ホタルをとまらせて捕まえるらしい。その後、下菅の田んぼ道でホタル狩り。懐中電灯の光に誘われたのが、たくさんホタルを見ることができた。「普段はあんまりホタルを見に行かないし、道具を作ったのも初めてだったからとって楽しかった！」

6月23日(木) くもりのち雨



さつまいもご飯と味噌汁

の朝食。夕食は大好きなカレーライス。

オセの話は、民生児童委員の森田勝彦さんのオシドリの話。

「こんなに間近でオシドリが見られるのは日本でも鳥取県だけという話を聞いてすごいと思った」

6月24日(金) 晴れ

豆腐ハンバーグ、かぼちゃと玉ねぎの味噌汁の朝食。

夕方、シイタケの植菌学習。黒坂の久代宏一さんから、ドリルの使い方や菌の植え方を教わった。



夕食は、オシドリの形に抜いた人参が飾ってあるかわいなおこわ、野菜の炊き合わせ、鶏の唐揚げなど。

オセの話は、教育委員長の福田和也さんが、黒坂に伝わる河童の伝説を話された。

そして、カワコ公園で待ちに待った花火大会。合宿最後の夜が楽しく盛り上がった。寮に戻ると、おととい書いた家族への手紙の返事が届い

ていた。お父さん・お母さんから、「あと少しだから最後まで頑張れ」とか、「ごちそうを作っても、喜んで食べてくれる人がいないので作りがいがなくてさびしい」とか書いてあった。

「両親からの手紙を読んで感動した。うれしかった」「読んでたらなんだか家に帰りたくなっちゃったよ」



6月25日(土) 晴れ

合宿最終日。最後の朝食はみんなで焼いたホットケーキとミネストローネで。

閉校式では、田淵教育長さんからみんなに終了証が渡さ

おとなからの声

- 保護者から 「送り出す前は、ひとりで生活できるかと不安でした」「子どものいない家は灯が消えたよう。さびしかった反面、子どもを見つめなおす良い機会になりました。」「家に帰ってきてからは、自分から進んで家の手伝いをしてくれるようになりました」
- 教育委員会職員から 「班ごとの役割分担がきちんとできていたように思います。食事の準備も率先してできていたし、テレビのない生活も苦ではないようでした。この合宿を機会に、自分の家庭での役割を考え直してほしいと思います」

れた。一週間の思い出をみんなで寄せ書きにしてから解散。「友達たくさんできたよ」「遊びすぎて疲れたけど楽しかった」「夜眠れない日もあった」「テレビやマンガがない生活でも全然平気だった」「来年も参加したい!」「肉じゃがが一番おいしかった」

一週間の共同生活を終えた子どもたちは、この思い出を胸に、少したくましくなって家族の待つ家庭へと帰っていきま